

みそ MISO 味噌 ミソ

私が味噌に興味を持ったのは丸森に来てからです。食育インストラクター資格取得のための勉強をするうちに朝食の大事さを知るようになり、味噌汁をいただく習慣をつけようと思いました。すると必然と味噌の消費量が多くなり、味噌を買う機会が増え、「味噌って何やるか？」と思うようになりました。そんなところに味噌作りのお誘いがあり、参加してきました。各家庭で作り方は違うと思いますが、私が参加した味噌作り会ではまず、2日前から納豆禁止令が出ました。納豆菌は強いらしく体に残るので味噌作りの工程で影響がある、ということでした。当日はだるまストーブ2台で豆を蒸し、その間にカラフル餃子と味噌おにぎりを作ってつまみ食いしながら作業しました。茹でるのではなく蒸したので、水分が少なく、空気抜きの投げる工程ができなかったのが残念でしたが、人生初の味噌、出来上がりが待ち遠しいです！



4月号

Vol. 6

協力隊通信

宮原 治代
(ミヤハラ ハルヨ)

福寿草のチカラ

「福寿草咲いてたよ！」暖かくなっているなとところで耳にしました。いろんな方が申し合わせたように言っていました。私にとっては丸森怪奇現象です。

なんでみんな揃いも揃って福寿草、福寿草って。。。恐るべし福寿草。皆さんにとって福寿草ってどんな存在？逆になんで今まで私にとって目に留まらなかったっちゃろか～。？で、私なりに考えてみました。もしかして皆さんは福寿草が咲くと「春が来た！」と感じているのかな。厳しい寒さ乗り越えたねえ、暖かくなって嬉しいねえと感じているのかな。私の場合、何かいな？幼少の頃、桜が満開の時期につくしが芽を出し、ばあちゃんと母とつくし採りに行ったことを思い出しました。採ったつくしは袴を取って、醤油で炒め、卵でとじて食べてました。そもそも九州の冬の寒さはそこまで厳しくないのだから春到来の喜びはこちらの方ほどないのかもしれないですが、私にとって「春が来た！」はつくしでした。移住したことで自分の故郷もあらためて考えるきっかけとなり、いい意味で福寿草はやっぱ恐ろしいですな。

※あくまでも宮原解釈です。



▲3/26、桜はまだ

町長表敬訪問

ザンビア丸森プロジェクトが始まるということで、JICA東北の所長が丸森町町長にご挨拶に来られました。石塚プロジェクトマネージャーがスライドで前回得られた成果や今回のプロジェクトの内容を説明しました。町長からは実はご兄弟がザンビアに行ったという話や、丸森町とザンビアの良好な関係を今まで以上に継続する、というお話をいただきました。会場にはNHK、TBC、河北新報の取材が入りました。



オンライン技術協力会

ザンビアと丸森をオンラインで繋ぎました。私が一番やりたかったことです。やはりザンビアプロジェクトの一番の特徴は丸森の皆さんがザンビアと直接つながっていることだと思います。日本の小さな町の皆さんと地球の裏側の小さな村が「お久しぶり〜」で始まる国際協力がなかなか凄いことなんですよ！皆さんがいないとプロジェクトできないんですよ！ということで今後もザンビアプロジェクトをよろしくお願ひします(^^)

裏です。



防災訓練

防災訓練を行いました。避難所設置の手順や安否確認の段取りを、まちセンと区長さん、駐在員さんと再確認しました。無駄であってほしい大事な時間だと思いました。私はここに来て早くも2回避難所にお世話になりましたが、訓練を受けておらず本当にどうしていいかわからず焦った記憶があります。周りの動きも大事ですが、自分で判断することもとても大事だと思いました。この訓練が現実にならないことを祈るばかりです。

牛石

先々月、八島英俊さん宅で牛のお産に立ち合わせていただきました。私たちが生きるために産まれてきた牛たち。その牛たちに感謝し、供養する儀式があるということで、お邪魔することになりました。

が、しかあし！な〜んか連絡が上手くいかず、牛石の前で待つも誰も来ず（笑）諦めて帰りました。次回は1年後にリベンジです！



余談ですが

またまた地震。。。今回は入浴中でして、扉をあけて避難路確保し、揺れが収まるまで洗面器を頭にかぶっていました。「一人だから怖いだろうと思って〜」とお電話くださったむつみさん、ありがとうございましたm(_)mペコリ